

JR東海労なごや

2016年 2月28日 No. 1062

JR東海労名古屋地方本部

発行者：山田哲也

編集者：教宣部

2016年JR総連春闘をすべての職場から闘いぬこう！

第26回定期地本委員会を開催し、当面する春の闘いを確認



2月25日、名古屋通信ビルにおいてJR東海労名古屋地本は第26回定期地本委員会を開催し、2016年JR総連春闘をはじめ当面する春の闘いを職場から闘いぬくための方針を確認しました。

春の闘いを提起

議長に豊橋運輸区分会仲田さんを選出し、続いてあいさつに立った山田名古屋地本委員長から「第一にベア6,000円の獲得を軸に、基準昇給額一律1,500円、基準昇給額減額の撤廃など賃金に関する課題。および夏季手当3.5か月を要求する闘い。第二にボーナスカット差別を許さない闘い。第三には中労委をはじめとした第三者機関を活用した闘い。第四はリニア中央新幹線反対の闘い。そして暴走する安倍政権を止めるため我が、たしろかおる応援プロジェクトの取り組みの強化。」など4つの課題が提起されました。来賓に小林本部委員長、高原本部副委員長、JR総連から淵上特別執行委員、地本OB会より中村事務長らを迎えそれぞれ連帯のあいさつを受けました。

委員から出された意見を要求に

執行部側から闘いの経過及び、春の闘いの方針が提起され、質疑に入りました。各委員から不当なボーナスカット、60歳以上の雇用不安、年休問題、出向先の労働条件改善など意見がだされました。特に名古屋運輸区分会寺倉委員長に定期委員会に合わせたように処分が出されました。会社の理不尽な攻撃に怒りをおぼえます。執行部側より答弁があり、高原本部副委員長の感想につづき、荻野書記長が「委員の貴重な意見を基に要求を作っていく」と総括答弁がありました。



最後に委員長より「春闘勝利、ベア6,000円獲得！」と力強い団結ガンバローで終了しました。

6,000円ベア獲得、基準昇給額一律1,500円

定期昇給の経年減額反対、夏季手当3.5か月

会社の賃金抑制、社員間の格差を許さず闘おう！